

事業所名

放課後等デイサービス パンプ

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		メープルビレッジ「パンプ」は、ご利用者一人ひとりが自身の個性に合う生き活きとした発達を続け、ご家族と共に健やかで安心した日々を送っていけるよう、その支えとしての素朴で温かな“村(ビレッジ)”のような心の拠り所の場である。						
支援方針		「完全個別支援+“α”」をモットーに、1対1のマンツーマン対応ならではの、一人ひとりに合わせたオーダーメイドな内容でフレキシブルに支援を行います。また、学校など集団活動の場や社会の中に上手に入っていくためステップとして、家族以外の他人とのふれあいや、やり取りを通じた対人関係の基礎の学びと共に、隣室児同士などの小々集団での交流も大切にしていきます。						
営業時間		13 時	00 分から	19 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	支援キーワード【あいさつ・ルーティンワーク・身だしなみ・持ち物管理・日常生活スキルの向上・気持ちの切り替え・自己体調の管理 など】 支援内容の一例 あいさつ、服の着脱、手洗い、トイレ後の身だしなみなど、日常生活全般のスキルを身に付けていけるよう声掛けや経験の場を設けながらサポートしていきます。 ・自分でできることは見守り、必要な時に手伝ってもらいながら自分のことは自分で頑張れる力がつくよう支援していきます。 ・自分の体調や気持ちの状態を周囲に伝え、誤解からの叱責や摩擦を受けるなど、自分が嫌な思いをしない為の方法などを本人と一緒に考えていきます。						
	運動・感覚	支援キーワード【工作/創作・興味の拡大・集中力の持続・軽い運動・身体の使い方(粗大運動)・手指活動(巧緻性)・ビジョントレーニング・身体感覚 など】 支援内容の一例 遊びながら楽しく体の使い方を知らせられるよう、指先や身体全体を使った活動や表現ができるように支援をしていきます。 ・気温の変化や運動後の発汗など、暑さ寒さの感覚に自分で気付けるよう促していきます。 ・力の加減やエネルギーの分配など、自分のパワーや集中力を上手にコントロールがしていけるよう様々な機会を経験していきます。						
	認知・行動	支援キーワード【学習支援・PC/スマートタブレットなどの利活用・調理体験・成功体験の積み上げ・失敗から得るもの・自己肯定感の獲得・自己解決力の習得・五感の向上 など】 支援内容の一例 失敗を恐れずに、自分でやってみよう！、やってみよう！という気持ちを大切にしながら、たくさんの経験を通して頑張れる力を伸ばせるよう寄り添います。 ・いろいろな事に挑戦し、達成できる嬉しさや喜びなど、成功体験から「できた！」の気持ちを自信に繋げられるようサポートしていきます。 ・学習の躓き、遅れなどからくる苦手意識を軽減していけるよう、基礎学習や復習をはじめコツやヒントの提案など、克服へのフォローを行います。						
	言語 コミュニケーション	支援キーワード【コミュニケーションスキル・相手との距離感・周囲の気持ち・意思疎通の喜び・SST・小集団交流 など】 支援内容の一例 場面や相手に合った会話ややり取りを目標に、正しい言葉使いや言い回しなどを伝え言葉も増やしながら、言葉のキャッチボールを楽しめるようにしていきます。 ・本人の伝えたい事や気持ちを言葉や表現で伝えられるように支援していき、伝わった喜びを自信に繋げられるよう寄り添います。 ・自分の気持ちと相手の気持ちや皆の気持ち、そのバランスの大切さを個別支援および小々集団活動の経験から学んでいける機会を設けていきます。						
	人間関係 社会性	支援キーワード【買い物学習・地域探索・隣室児との交流・誘う/誘われる・物の貸し借り・共同制作活動・共有スペースのシェア など】 支援内容の一例 必要な物の品選びや価格調査から近隣の店舗などに出掛けての購入をお会計まで、一連の買い物や道中の探索を経験しながら地域のお店や社会を知っていきます。 ・隣室児との交流の中で、みんなと会話しながら一緒に活動する楽しさを味わっていけるよう機会を設けていきます。 ・共有スペースで隣室児や他の職員と同じ空間で過ごし、互いやルールを尊重しながら遊びを共有出来たり、他者とのスムーズで円滑な関わりが持てるよう支援していきます。						
家族支援		利用者と保護者の思いを尊重しながら、子どもの発達状況や特性の理解、ご家庭での困り事やきょうだいへの配慮など、家庭生活の安定・充実に向けたアドバイスや相談援助を行い保護者等にも寄り添っていきます。			移行支援		進路や移行先の選択については本人や家族への相談援助など移行に向けての様々な準備の支援を行います。移行先で新しく使う道具の名前や使い方、用語や基礎知識など、移行時の混乱を軽減できるよう前もって支援していきます。	
地域支援・地域連携		インクルージョンの推進への配慮として、相談支援専門員や保育所等訪問支援員などを通して学校や併行利用事業所と本人の状態や支援内容等について情報の共有や連携などに取組み、具体的又は将来的な移行が考えられる場合はその支援目標や支援内容を設定していきます。			職員の質の向上		・原則的に児童の保育や教育または福祉に関わる資格保有者(保育士・教諭・社会福祉士など)のみで職員構成を行っています。・月に異なるテーマでの職員研修の機会を設け、障がい理解の知識・福祉サービス法令等の遵守や安全衛生への知識及び支援スキル全般の向上を図っています。	
主な行事等		・月毎共通制作（皆同じテーマで作品制作し、事業所の壁面やカウンター上に一定期間展示させていただきます） ・季節イベント（バレンタインデー、ハロウィーン、クリスマスなどには同時時間の隣室児同士でのミニイベントを行っています）						